

第4学年 音楽科学習指導案

に組 男子 18名 女子 20名 計 38名

指導者 濱田 宏明

1 題材 きょう土の音楽を味わおう

- 教材
- ◎「鹿児島おはら節」 鹿児島県民謡
「これぞ鹿児島！」を音楽で表そう
 - ◎「神田ばやし」 東京都民謡
 - ◎「花笠音頭」 山形県民謡

2 題材について

(1) 題材の位置とねらい

これまでに子どもたちは、第3学年題材「いい音えらんで」において、音の特徴や音楽の仕組みを生かして、曲の感じや場面に合った表現を工夫したり、音楽をつくったりすることの楽しさを味わってきている。さらに子どもたちは、多様な音楽の特徴を感じ取って表現したり鑑賞したりしたいという欲求が高まってきている。

そこで、本題材では、郷土の音楽の特徴や仕組みを感じ取り、それを生かして音楽をつくる活動を通して、郷土の音楽の特徴を感じ取って、表現する能力を育てるとともに、郷土の音楽に関心をもち、その特徴を生かした演奏の仕方や音楽のつくりかたを工夫する能力を高めることをねらいとして、本題材「きょう土の音楽を味わおう」を設定した。

ここでの学習は、他国の音楽と比較しながらそれぞれの特徴や仕組みを生かした表現や鑑賞をする能力を育てる第5学年「アジアの音楽を味わおう」の学習へと発展していくこととなる。

(2) 指導の基本的な立場

郷土の音楽の、旋律の感じや歌声の響き、楽器の音色などの特徴を感じ取って聴いたり、表現したりする能力を高めるためには、音楽をとりまく背景を、幅広くとらえ感じ方や考え方の質の向上を図るとともに、一人一人の感じ方のよさに気付いて認め合うことが効果的である。特にこの期の子どもたちには、音楽の仕組みに意識を向けながら、楽曲の特徴や演奏のよさ、面白さについて感じ取ったことを、言葉や体の動き、音楽などで表し、それぞれの特徴を生かして表現したり鑑賞したりしていくことが大切である。

具体的には、まず、「鹿児島おはら節」を取り上げる。この楽曲は、本校の子どもも多数参加している地域の祭りで使われ、地域の人に広く知られており、生活とのかかわりを意識しながら鑑賞するのに適している。そこで、ここでは、郷土の音楽の特徴を感じ取り、そのよさや面白さを味わえるようにする。

次に『「これぞ鹿児島」を音楽であらわそう』を取り上げる。この教材は、「おはら節」の旋律やリズム、または和楽器を基に、鹿児島を表す音楽づくりをすることができ、生活・社会とのかかわりを意識しながら郷土の音楽のよさや面白さ、美しさを実感させるのに適している。そこで、ここでは、前時に学習した「鹿児島おはら節」の歌詞から楽曲のイメージを広げ、音階やリズムなど音楽を形づくっている要素に着目し、和楽器などを使って表現を工夫したりする喜びや楽しさを味わうとともに、日本各地の音楽へと関心を広げていくことができるようにする。

さらに、日本各地の郷土の音楽を鑑賞する。ここで扱う楽曲は、日本各地の代表的な音楽で、特色ある楽器の音色や音階等が用いられ、それぞれの地域が大切にしている音楽文化に触れることができると同時に、そこから違った雰囲気や独特の味わいを感じ取ることができる。そこで、ここでは、郷土鹿児島島の音楽の特徴と比較しながら鑑賞することで、それぞれの違いやよさを感じ取り、生活や文化とのかかわりを感じ取ることの喜びや楽しさを味わえるようにする。

このような学習を通して、子どもたちは、郷土に伝わる音楽のよさや面白さ、美しさを味わいながら、音楽を形づくっている要素やその働きを感じ取ったりしながら表現したり鑑賞したりするこ

とへの関心・意欲を高め、音楽と豊かにかかわっていかうとする態度を養うことができる。

(3) 子どもの実態 (調査対象 4年に組 男子18名 女子20名)

本学級の子どもたちの実態は次の通りであった。

①	我が国や郷土の音楽について学習するのは楽しいと思いますか。 はい(35) いいえ(3)
②	その理由を教えてください。(複数回答) 【「はい」の理由】 ・自分が住んでいるところ歴史がわかる(7) ・生まれたところの音楽だから(6) ・もっと色々な音楽が知りたい(6) ・知らない音楽だから(2) 【「いいえ」の理由】 ・言葉が分からない(2) ・音楽がきれい(1) ・明るくなさそう(1)
③	地域や、日本各地の音楽について学習するとき、どのように学習を進めていきますか。(複数回答) ・歌詞を覚えて歌う(8) ・楽器で演奏する(5) ・地域のことを調べる(5) ・おどる、体をつかう(5) ・言葉の意味を調べる(3) ・作曲した人の気持ちを考える(3) ・音楽をつくる(2) ・ポスターや新聞をつくる(1)
④	鹿児島に伝わる音楽について知っていること(複数回答) ・よく知らない・わからない(26) ・茶わんむし(4) ・おはら節(3)
⑤	日本に伝わる音楽と聴いて想像すること(複数回答) ・ゆっくり(15) ・君が代(15) ・茶つみ(12) ・しぶい(5) ・こいのぼり(4) ・ひなまつり(3) ・音が高い(3) ・言葉がむずかしい(2) ・やわらかい(1) ・しずか(1) ・くらい(1) ・こわい(1)

①②から、子どもたちの多くが郷土の音楽を学習することについて楽しみを感じており、中には自分の住んでいる地域のことをよりよく知りたいという、生活との関わりを重視した面から学習したいと答えている児童もいる。一方「楽しくない」と答えた子どもたちは、言葉の難しさや、暗いイメージを不安の理由に挙げている。そこで、歌詞の意味について十分理解し、なぜその言葉が使われているかをしっかりと捉えさせたり、様々な種類の民謡を鑑賞したりして音楽のよさや面白さを味わえるよう取り組ませていく必要がある。

③から、歌や楽器といった技能面を中心に学習したいという子どもが多いが、一方で言葉の意味や地域について調べるとい曲の背景も大事にしたいと考える子どももいる。そこで、楽曲の分析にとどまるのではなく、郷土に伝わるそれぞれの楽曲が、祭りなどの行事で生活や文化に密接にかかわっていたことを実感できできたり、和楽器を演奏することを通して特有の音色に触れることができるようにする必要がある。

④⑤から、日本に伝わる音楽については、既習経験から様々な特徴を感じ取っているが、鹿児島の音楽については、ほとんど知らない子どもが多い。「おはら節」や「茶わんむし」などの曲を数名知っている子はいるが、音楽の仕組みから回答した子どもはいなかった。そこで、繰り返し何度も聴ける場の設定をして郷土の音楽にじっくりと触れさせるとともに、音楽の仕組みにも着目させる必要がある。

(4) 指導上の留意点

以上のようなことをふまえて、指導にあたっては次のようなことに留意したい。

ア 子どもたちが音楽のよさや面白さを実感できるようにするために、**実際にその音楽が演奏される時の写真や映像を準備し提示することで、音楽と生活や文化とのかかわりを実感できるようにする。**

イ 子どもたちが、音楽を形づくっている要素とそこから醸し出されるよさや面白さ、美しさを感じ取ることができるようにするために、**楽曲を繰り返し聴いたり、感じたことを言葉で表したりするような場を設定する。**

ウ 子どもたちがそれぞれの音楽のよさや面白さ、美しさに気付き、音楽の仕組みに着目できるようにするために、**子どもたちが楽曲に接して感じ取ったことの原因を音楽の中から見つけるようにしたり、歌ったり体を動かしたりするような活動を取り入れる。**

3 目 標

- (1) 郷土の音楽に関心をもち、そのよさや面白さ、美しさを味わいながら進んで活動に取り組むことができる。
- (2) 郷土の音楽の特徴を生かした演奏の仕方や音楽のつくりかたを工夫することができる。
- (3) 郷土の音楽の特徴を感じ取り、言葉で表わすなどして楽曲の特徴や演奏のよさに気付くことができる。

4 指導計画（全5時間）

過 程	時	教材	主 な 学 習 活 動	教師の働きかけ
課題把握 課題追求 I	1 (本時)	「鹿児島おはら節」	「おはら節」には、どんなよさや特徴があるのだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽が生活や文化とかかわっていたことを実感できるようにするために、「おはら祭り」の映像を流し、多くの人に親しまれていることや、踊っている人たちの表情が実感できるようにする。 ○ おはら節のよさや特徴を、「音色」「リズム」「音階」等の音楽を形づくっている要素を基に話し合う。
課題追求 II			<ul style="list-style-type: none"> ○ 「鹿児島おはら節」の範唱を聴き、気付いたことや感じたことを話し合う。 ○ 歌ったり楽器で演奏したりする。 ・旋律 ・リズム ・合いの手 	
	2	「これぞ鹿児島！」	「これぞ鹿児島」を音楽で表そう。	<ul style="list-style-type: none"> ○ おはら節のよさや特徴を、「音色」「リズム」「音階」等の音楽を形づくっている要素を基に話し合う。 ○ 前時の「おはら節」の学習を生かして、鹿児島を表す音楽を自分たちでつくることができるようにする。 ○ おはら節の学習が生かせるようにするために、和楽器も使用できるようにする。
			<ul style="list-style-type: none"> ○ イメージに合うような音楽づくりで気を付けることについて確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・リズム ・音色 ・速度 ・強弱 ・旋律 ・音の重なり ・問いと答え ・反復 ・変化 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「おはら節」の旋律やリズムを基に、グループで鹿児島を表す音楽をつくる。 ・ 桜島の噴火と灰が降る様子 ・ 黒豚が走っている様子 ・ 錦江湾にうかぶ船の様子 	
	3 ・ 4	「これぞ鹿児島！」を音楽であらわそう	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分達の表したいイメージと音楽の要素とをどのように結び付ければよいか考えながら、音楽づくりをする。 ○ つくった音楽を相互発表・鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちの音楽づくりに生かすことができるようにするために、活動が順調に進んでいるグループの作品を聴いたり、行き詰っているグループの意見を取り上げてアドバイスしたりするような場を設けるようにする。 ○ 音楽に対する感じ方や考え方を明確にするために、それらについて言葉で表したり、友だちと交流したりするような場を設定する。 ○ さまざまな地域で歌い継がれているうたのよさに気付かせるために、鹿児島以外の地域の民謡を鑑賞する。
課題追求 III			<ul style="list-style-type: none"> ○ 各地に伝わる音楽にはどのようなよさや特徴があるのか気を付けてきこう。 	
	5	「花笠音頭」「神田ばやし」	<ul style="list-style-type: none"> ○ 興味をもった音楽について、よさや特徴をみつける。 ○ 各地に伝わる音楽を鑑賞し、それぞれの音楽のよさや面白さについてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 楽曲に対する関心を高めるために、曲名やどこの地域の音楽であるかは知らせずに聴かせるようにする。 ○ 音楽の特徴やよさを感じ取ることができるようにするために、CDプレーヤーを班ごとに設置し、繰り返し聴くことができるような場を設定する。 ○ 音楽と豊かにかかわっていけるようにするために、今後の学習や生活とのかかわりという視点をもたせて振り返りをさせるようにする。
まとめ			<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地に伝わる音楽は、祭りなど生活とつながっているものが多いな。 ・ 他の地域ではどんな音楽が伝わっているのだろう。 	

5 本 時 (5 / 5)

(1) 目 標

- ア 郷土に伝わる音楽の特徴やそのよさに関心をもち、進んで活動に取り組むことができる。
 イ 伝統的な音楽について、特徴の違いやよさを感じ取り、自分なりの考えをもつことができる。

(2) 本時の展開に当たって

子どもたちが、音楽を形づくっている要素とそこから醸し出されるよさや面白さ、美しさを感じ取ることができるようにするために、**感じたことや考えたことを言葉で表したりするような場を設定する。**また、音楽との豊かなかかわりを求め続けることができるようにするために、振り返りの過程では、**生活・社会とのかかわりという視点からも本時の学習を振り返るようにする。**

(3) 実 際

過 程	主 な 学 習 活 動	時 間	教 師 の 具 体 的 な 働 き かけ
課題 把握	1 「おはら節」を鑑賞し、気付いたことや感じたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> おはら祭りでこの曲に合わせておどったことがある。 日本らしい楽器が使われているな。 2 本時の学習について話し合う。 「おはら節」には、どんなよさや特徴があるだろうか。	(分) ↑ 8 ↓	○ 音楽が生活や文化とかかわっていたことを実感できるようにするために、「おはら祭り」の映像を流し、多くの人に親しまれていることや、踊っている人たちの表情が実感できるようにする。 ○ 曲の背景を知り、鹿児島よさを感じることができるように、歌詞の意味や鹿児島の名所・名産などをしっかりと捉えさせる。
課題 追求	3 曲の特徴や仕組みを、様々な表現方法で感じ取る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 【特徴】 ・旋律 ・リズム ・合いの手 【仕組み】 ・変化や繰り返し 【その他の要素】 ・曲の背景 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <様々な表現> ○ 動きであらわす ○ 歌ってみる ○ 言葉で表す </div>	↑ 30 ↓	○ 楽曲を集中して繰り返し聴けるようにCDラジカセをグループごとに準備する。 ○ 音楽に対する自分の感じ方や考え方を明確にするために、それらについて言葉で表したり、友だちと交流したりするような場を設定する。 ○ 自分の感じ方や考え方と、音楽を形づくっている要素とを結び付けている子どもの意見を全体で採り上げるようにする。 ○ 考えの深まりを実感できるようにするために、最後に楽曲全体を鑑賞する場面を設ける。
まとめ	4 互いの表現を交流し、曲全体を聴く。 <ul style="list-style-type: none"> 繰り返しきくことで、新しい発見があったぞ。 友だちは自分とは違う捉え方をしているけど、その考えもおもしろいな。 5 本時を振り返り、学習のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> 今まで、鹿児島の音楽についてあまり知らなかったけれど、色々なよさや特徴があると思った。 おはら節にも色々な種類がある。自分たちでもつくってみたい。 	↑ 7 ↓	○ 音楽に対する自分の感じ方や考え方を明確にするために、それらについて言葉で表したり、友だちと交流したりするような場を設定する。 ○ 自分の感じ方や考え方と、音楽を形づくっている要素とを結び付けている子どもの意見を全体で採り上げるようにする。 ○ 考えの深まりを実感できるようにするために、最後に楽曲全体を鑑賞する場面を設ける。 ○ 子どもたちが音楽と豊かにかかわっていけるようにするために、 生活・社会とのかかわりの視点から振り返りができるようにする。 ○ 次時への意欲を高めるために、アレンジされた「おはら節」を聴くようにする。